



## 「保険診療」

「なぜ保険でできないんだ！」という患者さんの言葉。「保険でできないのは歯科医師の利益追求のせい」と誤解されているようである。

この背景にはいろいろな事情があるが、新しい技術や治療の保険導入が、医科と比較しても歯科にはほとんどないこと



が大きいの。自費治療は100%患者さん負担となる。多くの患者さんの保険治療費は二割なので、自費治療が大きな負担に感じるのは当然だ。新しいと言えないインプラントも含め、多くの分野が保険適応ではない。

保険導入されている技術も条件によっては保

# 歯科医師も疑問や心痛

□□ 18 □□

険適応にならないなど、誤解を生じやすい。また保険と自費の治療が少しでもリンクすると犯罪者扱いする行政にも歯科医師は心を痛めている。

一方で、保険診療には歯科医師の多くが赤字と感じている部門がある。また入れ歯や冠を入れる補綴の分野で保険治療ができる国はめずらしい。日本の医療を決定する中、医協でも、歯科の話はほとんど出ないと聞いている。歯科医療の評価(点数)は二十年以上大きな変化がない。

こうした現実から夜間や日曜日も診療する歯科医院も増えている。私も夜八時まで診療して二十五年になるが来年五十五歳を迎える身にはつらい。末端の歯科医師がいから努力しても空しさがつるばかりだ。

医療の予算不足は、税金と同じように健康保険料を必須義務とするだけで改善する可能性も高い。未払いの保険料が大きいという事実も国民の皆さんにはぜひ知ってほしい。